

## カンボクマルハバチ（仮称）

6～7月に集団でカンボクを葉を食べるイモムシ（幼虫）。最大長13mm。白い粉の塊に覆われる。  
時に庭のカンボクで多発することがある。



1. 中齢幼虫，体長7～9mm。1999/6/29.

美唄市，庭のカンボク。

【学名】 *Eriocampa* sp.（種名未確定）

【分類】 ハチ目（Hymenoptera），ハバチ亜目（Symphyta），ハバチ科（Tenthredinidae）

### 【生態】

宿主：カンボク。

年1回発生。道央では幼虫が6月中旬から7月上旬頃にみられる。数十頭の集団を作り，葉に穴を開けて食べる。幼虫は葉裏にいる。

卵は葉裏の主脈の横側に列状に埋め込まれる。

### 【被害と防除】

庭のカンボクでときどき多発し，葉を食べ尽くすことがある。もっとも，多発は1年で終わっており，食害により木が枯れた例は知られていない。

幼虫は白く目立つので，取り除いて駆除する。白い粉が皮膚についても何ともないが，気になるときは手袋をする。

北海道立林業試験場・緑化樹センター

カンボクマルハバチ habachi/kanboku/  
kaisetu.htm

「文章」原秀穂，北海道立林業試験場，2001/8/21。  
yochu.JPG

「写真1」原秀穂，北海道立林業試験場，1999。

